

 評価のポイント

CL-新人.ニーズを捉える力（精神科）

[6-新人] 理論の基礎知識 / ① バイオ-サイコ-ソーシャルモデル ② ストレングスモデル ③ リカバリーモデル

① バイオ-サイコ-ソーシャルモデルを使った患者理解で、これまでの自分のアセスメントや病棟での取り組みが弱い部分は何でしょうか。それをカバーするために、どのような取り組みをしたらよいでしょうか。

【出題の意図】施設における看護では、とかくモデルのバイオ部分に偏りがちです。全人的なケアが考えられるよう、

- ・サイコ、ソーシャルでの視点を振り返ることができるのか
- ・具体的なレベルにまで取り組みを落とし込める力があるか

これらを見極めつつ、抽象的な場合はもう一段階掘り下げられるようなコメントがあると次のステップにつながると思います。

例) 家族との関係性や患者や家族のそれぞれへの思いについて、十分聞いていなかった

→面会后、家族に話をきいてみる。患者にも家族について聞くことで理解を深めたい

実際の社会資源についての知識がない

→病棟で訪問看護ステーションの方に来ていただいて、地域資源についての勉強会を実施するのはどうだろう

② 患者さんのストレングスを見出す際の注意点は何かあったでしょうか。

【出題の意図】ストレングスでの注意点としては講義の通りです

キーワードとしては「関係性」「言葉のままに受け止める」「患者のペースで口をはさまない」です

どれも看護師がつい苦手なものですが、このキーワードの意味を自分の言葉で説明できていれば、十分理解でき、実践できるでしょう

【支援での注意点】

- ・希望や願いを表現するには勇気が必要。関係性の基盤がないとできない
- ・希望や願いは、患者の言葉そのままに受け取り記載することが重要。言い換えたり、要約したり、解釈、修正しないよう気を付ける。尊重する
- ・最初の希望はとてもしさやかなものであったり、とんでもない内容かもしれない。患者のペースで、口をはさまず、看護師の意向を押し付けない

③ 精神保健領域で言うリカバリーとは何だったでしょうか。

【出題の意図】精神保健領域で言うリカバリーの意味は単なる英単語翻訳の「回復」とは異なることがわかっていれば大丈夫です。

講義では「生きることを取り戻す、自分の人生を生きる」と示しましたが、このような類似の言葉で示されていれば十分です。